

北九州市立大学地域共生教育センター (421Lab.)

FULL

[フル]

2024年度

Vol.17

地域につながる。自分をひろげる。



421 Lab.

北九州市立大学 地域共生教育センター
Regional Symbiosis Education Center



地域共生教育センター（通称:421Lab.）は、課題を解決したいと考える地域・団体と、地域貢献・ボランティアに興味関心のある学生をつなぐ架け橋のような役割を担っています。その中で421Lab.学生運営スタッフは、北方キャンパスの全ての学部・学群生に地域活動を通して貴重な学びを得てもらうために、「地域活動の魅力発信」と「プロジェクトに関わる人の支援」に取り組んでいます。学生に地域の一員として活動してもらい、地域と学生とを近づけるためのお手伝いをしています。



●プロジェクト人数

31名

●活動開始時期

2010年4月～

●活動頻度

全体会：週1回程度

（水曜日昼休み～3限）

各グループ活動：週1回程度

●連携・受入団体

北九州市内の行政機関

民間組織、団体など

●主な活動場所

地域共生教育センター

（421Lab.）

421Lab.学生運営スタッフは3つのグループで活動しています

大学・地域支援グループ

大学・地域支援グループは、421Lab.について学内外の人たちに知ってもらうための企画立案やイベント開催等を行っています。学内外、小学生から高校生までの幅広い世代と交流する機会があるため、場面に応じたコミュニケーション方法やイベントを通じて企画運営能力などを身につけることができます。また、学内イベントでは421Lab.の活動紹介を行っています。



Lab. 支援グループ

Lab.支援グループは、421Lab.全体の運営サポートを行っているグループです。主に広報誌やSNS等で、421Lab.に所属しているプロジェクトの活動の宣伝を行っています。421Lab.公式ホームページ内の「ラボログ」に各プロジェクトの活動を詳細に記事にしています。他にも、学生運営スタッフに向けた講座を実施しています。今年度は、企業や団体等学外の方との交流の際に必要な社会人マナーについての講座を開催しました。



プロジェクト支援グループ

プロジェクト支援グループでは、421Lab.のプロジェクトに在籍する学生が活動しやすくなるように研修会や講座を開いてサポートしています。研修会はそれぞれのプロジェクトが1年間の活動に目的や課題意識を持ちながら活動していけるようにするために開催しています。講座では、地域活動を行う上で最低限必要な礼儀作法やパソコンの基本的な使い方といったスキルアップに直結する企画も実施しました。



421Lab. 1年間の主なスケジュール

新入生向け相談会



前期スタートアップ研修



前期振り返り・後期スタートアップ研修



4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月



ブース説明会



オープン
キャンパス



地域活動発表会



一人ひとりがリーダー ～地域と世界と歩み、創造する～

北九大認知度向上プロジェクト

私たち北九大認知度向上プロジェクトは、本学のブランディングを目的としています。情報発信の対象は、本学の教職員や学生、高校生、取引先のほか、金融機関、行政機関、各種団体、地域住民など、あらゆる利害関係者です。学部・学群やサークル、ボランティア活動、国際交流、就職活動についてなど、取材を通して情報を集め、SNSやホームページで発信するまでの一連の流れを学生主体で行います。



●プロジェクト人数
20名

●活動開始時期
2023年7月～

●活動頻度
2023年11月時点では、毎週火曜日にコアメンバーで、月に1度火曜日昼休みと3限に全体で会議を行っています。

●連携・受入団体
学内

●主な活動場所
学内

DE&Iに会い、認め合う社会を！

DE&学生プロジェクト：ダイバーシティ・エクイティ&インクルージョン

北九州市立大学におけるダイバーシティ・エクイティ&インクルージョン(多様性・公平性・包摂性)の促進を目指して、学生主体の活動を行っています。活動は学生が立案・企画・運営していくこととなりますが、たとえばマイノリティ当事者・アライ(支援者)によるイベントの運営、居場所づくり、啓発・広報活動、ワークショップの企画、他大学の学生団体との交流等が含まれると考えられます。また、大学全体のダイバーシティ推進を行っている「北九州市立大学ダイバーシティ推進検討会議」との連携も考えられます。



●プロジェクト人数
10名

●活動開始時期
2024年4月～

●活動頻度
定例ミーティング
(2か月に1回程度)
オンライン・イベント
(2か月に1回程度)
イベント企画ミーティング
(8, 9月)
ダイバーシティ週間イベント実施
(12月)
他大学との交流 1年に1回程度

●連携・受入団体
なし

●主な活動場所
学内

この夏、一歩踏み出そう

オープンキャンパスプロジェクト

毎年7月に開催されるオープンキャンパスの企画・運営を行います。高校生や保護者のみなさまに学部・学科のリアルな声をお伝えしたり、学生生活の紹介をしたりする企画を学生自身が企画し実施します。そうした活動を通して、高校生に本学への理解を深めてもらい、進学意識の向上や本学への志願者の確保などへつなげます。



●プロジェクト人数
約40名

●活動頻度
週に2回～3回、お昼休みや空きコマを使ってミーティングを行っています。

●連携・受入団体
北九州市立大学
(企画戦略課広報係)

●主な活動場所
学内

魅力ある就職イベントを一から作り上げよう！

JOB×HUNTER (学内合同企業研究会)

毎年多くの北九大学生が参加する一大就職イベントである学内合同企業研究会「JOB×HUNTER」を、学部1～3年生が主体となって、参加企業・団体の選定から出展交渉、パンフレット作成、事前イベントの開催、当日の会場運営からイベントの実施まで全て行います。本プロジェクトを通して、学生スタッフ自身の成長を促すとともに、将来の進路の選択肢を広げ、広い視野を持って進路決定に臨むことを目的に開催しています。

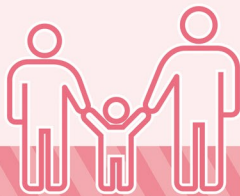


●プロジェクト人数
40名

●活動頻度
週に1度昼休みに全体ミーティング、リーダー達は全体ミーティングとは別に、週に1回程度空きコマでリーダーミーティングを実施。また、各自企業誘致のための営業活動や各班の活動を活動期間中(約半年間)に行う。

●連携・受入団体
北九州市立大学 学生支援課
就職係(キャリアセンター)

●主な活動場所
学内



子育てや教育、食育を通して 地域課題に取り組む

子どもたちの体験を通して、豊かな心を育む活動を行っている。また、食を通して健康に関する知識を得、食育に活かす取り組みを行う。

子どもたちが安心できる居場所づくりを

子ども食堂応援プロジェクト

子ども食堂応援プロジェクトは、北九州市内の子ども食堂で、子どもたちに勉強を教えたり、一緒に遊んだりしています。みんなでご飯を食べることで孤食を防ぐとともに、子どもたちに楽しく、安心して過ごすことのできる第3の居場所づくりを目標としています。現在は4つの子ども食堂と連携して活動を行っています。イベントの企画を通して、子どもと関わりながら成長することができるプロジェクトです！



- プロジェクト人数 77名
- 活動開始時期 2016年9月～
- 活動頻度 (日明) 毎月第2、4週 (水) 17:00～
(城野) 毎月第3週 (水) 17:00～
(大里南) 毎月第1、3週 (水) 17:00～
(若園) 毎月第2週 (金) 16:00～
- 連携・受入団体 日明元気もりもりハウス
城野子ども食堂ハッピー
絆キッチン
こあらのおうち子ども食堂
- 主な活動場所 北九州市立各市民センター
(日明・城野・大里南・若園)

実際の教育現場で子どもたちの学習をサポート！！

桜丘小学校学習支援プロジェクト

小倉北区にある桜丘小学校にて、児童の学習支援を行っています。主な活動は、各教室で行われている実際の授業に参加し、AT(アシスタント・ティーチャー)として、子どもの学習理解をサポートする役割を担っています。また、その他の活動として、特別支援学級での学習支援活動や、小学5年生を対象にした進路(高校・大学)に関する特別授業「キャリア教育」を開講しています。



- プロジェクト人数 14名
- 活動開始時期 2017年4月～
- 活動頻度 個々の学生の授業スケジュールに合わせて活動日の調整を行い、それぞれの都合の良い曜日・時間帯に活動します。
(週1回程度)
- 連携・受入団体 北九州市立桜丘小学校
- 主な活動場所 北九州市立桜丘小学校

「学べる遊び」を通じて笑顔と思い出をつくる！

421Lab.わくわくキッズプロジェクト

私たちの活動目的は、子どもたちが楽しく学びながら遊ぶことができる企画をメンバー全員で考え、思い出に残る特別な時間を提供することです。未就学児から小学校高学年の子どもたちまで、それぞれの年齢に合わせた遊びを考えます。市内の企業や団体と連携しながら、出張子ども大工への定期的な参加に加え、夏祭りやハロウィンパーティーといった季節のイベントを開催しています。



- プロジェクト人数 13名
- 活動開始時期 2021年4月～
- 活動頻度 毎週月曜昼休みに定例ミーティング
月に1、2回不定期でイベントに参加
- 連携・受入団体 大英産業株式会社
コラボキャンパスネットワーク等
- 主な活動場所 学内
幼稚園や小学校
商業施設

食と健康の大切さを楽しく発信

『食』から学ぼうプロジェクト

私たちは、地域社会との繋がりを大切に、食と健康について自発的に学習し、その成果を地域住民の方々や同世代の学生に伝えていきます。前年度に引き続き「小倉南区公認KG-100アンバサダー」として活動をし、小倉南区が実施している高血圧予防啓発イベントへの参加、小学生に向けた高血圧予防の啓発活動を行っています。また今年度からは、JA北九の婦人部の方々と交流させて頂き、地元の食文化について学んでいます。



- プロジェクト人数 15名
- 活動開始時期 2016年4月～
- 活動頻度 毎週1回昼休みにミーティングを行います。(今年度は毎週木曜日)
月1回程度で企画やイベントを行います。(調理実習、高血圧予防啓発イベントへの参加など)
- 連携・受入団体 北九州市小倉南区役所保健福祉課
JA北九の女性部の方々
- 主な活動場所 学内
北九州市立北方市民センター
調理室
北九州市立志井小学校
JA北九 大地の恵み西中店 調理室

英語と異文化を子どもたちと学ぶ

英語で遊ぼうプロジェクト

本プロジェクトでは未就学児から小学生までを対象に英語や異文化理解に触れる活動を行っています。子どもたちに英語を楽しんでもらうために、英語かるたの作成や提携する団体が主催する夏祭りに参加し、お面づくりやストラックアウトを楽しめるブースの出店等も行っています。また、他のプロジェクトとの協働企画を行っています。来年度は、近隣小学校の学童で活動したいと考えており、現在はその準備を進めています。



- プロジェクト人数 10名
- 活動開始時期 2021年4月～
- 活動頻度 毎週金曜日の昼休みにミーティング
不定期でイベントを開催
- 連携・受入団体 コラボキャンパスネットワーク
- 主な活動場所 学内



環境問題の課題に取り組む

ゴミ拾いや環境問題を通して「環境未来都市」としての魅力発信を行うとともに、学内の様々な環境問題に取り組んでいる。

「北九州ならではの」を活かして「魅力向上」へ！

まち美化魅力向上プロジェクト Clear

私たちは、「北九州市の魅力向上」を第一に活動しています。清掃活動を通じての地域交流だけでなく、SNSの活用など様々なアプローチから魅力を発信することに挑戦しています。このプロジェクトの特徴は、地元企業との関わりがあることです。今年度は、合同清掃を行い、新たな活動を始めることができました。北九州市の魅力をどのようにして向上させ、皆さんに伝えていくか、日々模索しながら頑張っています！



- プロジェクト人数
8名
- 活動開始時期
2020年4月～
- 活動頻度
月に8時間程度
毎週月曜日のミーティング
清掃活動等
- 連携・受入団体
株式会社ミクニ
- 主な活動場所
学内
三萩野バス停
神蔵川周辺

アットホームな雰囲気で綺麗なまちをめざす

地域クリーンアッププロジェクト

このプロジェクトは楽しくアットホームな雰囲気で行うことを目的として、大学周辺でのゴミ拾い活動を行っています。お花見清掃やハロウィン仮装清掃など季節ごとのイベントを取り入れ、楽しみながら清掃活動を行えるように工夫しています。また、ゴミ拾い活動を続けることで「ポイ捨てすることばかり悪いことだ」という気持ちを広めることを目指しています。



- プロジェクト人数
19名
- 活動開始時期
2015年4月～
- 活動頻度
毎月第2、第4水曜日
17時30分から約1時間程度
- 連携・受入団体
NPO法人greenbird
- 主な活動場所
北九州市立北方市民センター

「環境」から考える北九州市の今と未来

青空学プロジェクト

私たちは、北九州市の環境問題について、学生の視点からアプローチを考え、実践していく中で解決への糸口を探る活動を行っています。今年度は、「北九州市の今と未来の環境を守るために、現状を伝えていくこと」を目的とし活動を行ってきました。

自分たちが学び続けることはもちろん、SNSやイベントを通して、環境について知り、考えてもらう機会を提供しています。



- プロジェクト人数
7名
- 活動開始時期
2016年4月～
- 活動頻度
毎週金曜日昼休み定例ミーティング
- 連携・受入団体
NPO法人里山を考える会
- 主な活動場所
学内
タカミヤ環境ミュージアム

「もったいない」なら私たちにお任せ下さい！

北九大もったいないプロジェクト

北九大もったいないプロジェクトでは、学内に潜む「もったいない」を見つけ出し、持続的に有効活用するための方法を考え実践する活動を行なっています。食品ロスや節電、リサイクルなど私たちにとって身近な課題を取り上げることで、学生の環境問題に対する意識の向上を目指しています。個々の意見が活動に反映されやすく、また何事にも挑戦できる環境であるため、メンバー全員が主体性・責任感を持って課題解決に取り組んでいます。



- プロジェクト人数
12名
- 活動開始時期
2022年4月～
- 活動頻度
週に1回全体ミーティング
(2023年度は毎週金曜日)
夏休みの研修・イベント
(数日間)
- 連携・受入団体
プレイセンター・ハロハロ
北九州市コンポストアドバイザーの会
- 主な活動場所
学内

10年後の北九大をSDGsでより豊かに

KITAQキャンパスSDGs

私たちは学内のSDGs文化の醸成を目的に活動しています。「10年後の北九大はどうあるべきか？」「自身の大学や大学生活をどのようにしたいか？」という問いに、SDGsの観点を活かしながら、学生自らがアクションを起こすことを重要視しています。現在、みず色PJ(みずからプロジェクト)では北方キャンパス本館A-101の横に、無料の浄水ウォーターサーバーを設置しています。学生が清掃や利用量を記録して運用することと、学内に向けて周知活動を行っています。



- プロジェクト人数
11名
- 活動開始時期
2022年4月～
- 活動頻度
週に1回、昼休みにグループごとにミーティング
- 連携・受入団体
株式会社タカギ
- 主な活動場所
学内



国際貢献・北九州の文化に 取り組む

北九州の文化を発信することにより課題解決に取り組んでいる。また、国際交流や国際貢献を目的に活動しグローバルな人材育成を行っている。

気軽に国際貢献！

TFT×KitaQ univ.プロジェクト

私たちは「食」を通じた国際貢献を目的に活動しています。TFTとはTable For Twoの略称で「2人のための食卓」を意味し、先進国と開発途上国の食の不均衡を解消する活動に取り組んでいます。

主な活動内容は、北方キャンパスの学生食堂で開催される「TFTフェア」で、売り上げの一部を発展途上国の子どもの給食費として寄付するためのメニューを提供することです。そのほかにも学外のイベントに参加して、講演や自分たちが考案したメニューの販売を行っています。



●プロジェクト人数
23名

●活動開始時期
2014年4月～

●活動頻度
毎週木曜日の昼休みにメンバー全員でミーティングを行っています。イベントを予定しているときはミーティング以外の時間でも活動を行います。

●連携・受入団体
北九州市立大学生生活協同組合

●主な活動場所
北方キャンパス学生食堂

北九州市の文化観光プログラムを学生視点でプロデュースしよう！

北九州文化観光プロジェクト

私たちは学生視点で北九州市の文化資源を点検・発掘した上で、新たな活用方策や連携による価値創出を検討し、魅力的な文化観光プログラムづくりを目指しています。今年度は八幡東区の「東田エリア」を対象とし、文化施設・商業施設・行政・地域住民の4つの視点から文化観光プログラムを検討しました。現地調査やヒアリング調査、学生同士のディスカッションを重ね、協力連携しながら取り組んでいます。



●プロジェクト人数
17名

●活動開始時期
2023年5月～

●活動頻度
週に1回程度
(月に1～2回フィールドワーク)

●連携・受入団体
東田ミュージアムパーク実行委員会
北九州市役所

●主な活動場所
学内
東田エリア（八幡東区）
門司港周辺（門司区）など

日常に文学を！

「ブンガクの街北九州」発信プロジェクト



私たち「ブンガクの街北九州」発信プロジェクトは、「北九州市を『文学』の街としてブランディングする」というコンセプトのもと、北九州市を盛り上げるために活動しています。実は、北九州市にゆかりのある文豪や文学作品はたくさんあります。それらの魅力を多くの人に広めたり、地域の人と『文学』を通して交流したりするために北九州市文学サロンの皆様や北九州市立子ども図書館のご協力のもと、日々活動しています。



●プロジェクト人数
12名

●活動開始時期
2015年11月～

●活動頻度
週に1時間程度のミーティング、月に1回程度、週末にイベント等に参加

●連携・受入団体
北九州文学サロン
北九州市立子ども図書館
北九州市役所

●主な活動場所
学内
北九州文学サロン
北九州市立子ども図書館
小倉京町銀天街

文化の魅力を分かち合い、共生の花を咲かせよう

国際交流プロジェクト FIVA

私たちは、外国人の方との交流を通じた「多文化共生社会」の実現を目標としたプロジェクトです。主に、北九州YMCA学院の留学生や、北九州国際技術協力協会(KITA)の研修生と交流しています。異文化を学びながらも、自分たちの文化や言語についても学びを深められるのが大きな魅力です。外国人の方々が安心して暮らすことを目指す私たちの活動が、共生社会を築いていくために、少しでも貢献できればと思っています。



●プロジェクト人数
39名

●活動開始時期
2016年4月～

●活動頻度
毎週1回の定例ミーティング
月に4・5時間程度の交流会

●連携・受入団体
北九州YMCA学院
公益財団法人北九州国際技術協力協会 (KITA)

●主な活動場所
学内
北九州YMCA学院
北九州市内及び近隣地域

タイの大学生と日本の大学生とで商品開発

国際開発プロジェクト Thaksina

NEW

タイのバツタルン地域の農村の活性化を目的として、2024年から3年間の期間限定で、タクシン大学の学生たちと一緒に大豆ミートを使ったソーセージの作成やヤシを使った石鹸の作成などお土産物の開発を行います。毎年、双方の学生が行き来をしつつ、試作、宣伝、販売等を経て商品完成まで行います。
※現地の受入体制等の関係で、メンバーの数を限定しています。



●プロジェクト人数
6名

●活動開始時期
2024年4月～

●活動頻度
月に2度びびきのメンバーと北方メンバーで定例Mtg、夏にタクシン大学訪問、春にタクシン大学の学生受入、その他不定期での活動（商品開発、試作）もあります。

●連携・受入団体
株式会社ヤギシタ
タクシン大学

●主な活動場所
北方キャンパス
びびきのキャンパス
タクシン大学



防犯・防災・福祉の 課題に取り組む

災害復興の支援や防犯・防災に備えるため、地域の課題解決に取り組んでいる。また、平和や福祉について考え、豊かな社会を築くため活動している。

北九州から食を通じて被災地とつながる！

KITAQ∞『絆』復興応援プロジェクト

東日本大震災をはじめとした被災地の復興支援と風化防止を目的として活動を行っています。地域の祭りやイベントに参加して、岩手県釜石市産のイカと小倉発祥の焼うどんを掛け合わせた「絆焼うどん」を販売し、その一部を義援金として寄付や旅費等の活動資金に充当しています。さらに、震災を風化させず防災意識の向上のために、防災教室も開催しています。食を通じて人と地域、被災地とを繋げる活動を行っています。



- プロジェクト人数
15名
- 活動開始時期
2011年4月～
- 活動頻度
毎週金曜日昼休みのミーティング
市内のイベント等で月に2～3回の出店
地域や小学校での防災教室
- 連携・受入団体
お好み焼きいしん
- 主な活動場所
学内
お好み焼きいしん
各地のイベント

ピース！ ～平和へのかけらを集めよう～

平和の駅運動プロジェクト

私たち平和の駅運動プロジェクトは、戦争の記憶の風化と平和への意識の希薄化を問題と考へて、若者を中心に平和についてもっと興味を持ってもらいたいという想いで活動しています。具体的には、小学校での平和学習、子ども図書館でのイベントへの参加、長崎や広島の子世代の人たちと交流等、平和について考える機会の提供と自分たち自身が平和についてより深く考えるような活動を行っています。



- プロジェクト人数
8名
- 活動開始時期
2011年4月～
- 活動頻度
週1回のミーティング、不定期
(月1回程度)で学外活動
- 連携・受入団体
北九州市平和のまちミュージアム
北九州平和資料室TICO PLACE
北九州市立西小倉小学校
北九州市立葛原小学校
長崎市立城山小学校
- 主な活動場所
北九州市
長崎市

防犯・防災意識向上の“きっかけ”づくり

防犯・防災プロジェクト (MATE's)

「北九州市を学生の視点から安全・安心なまちにしたい」。そんな思いから、私たちは防犯・防災という2つの分野で様々な活動に取り組んでいます。メンバー一人ひとりが、他人事ではなく自分事として「まちの安全安心」について深く考え、話し合いながら、有事の際に最適な行動がとれるように、防犯・防災の視点から地域に入り、活動を通してコミュニティの活性化を図っています。



- プロジェクト人数
27名
- 活動開始時期
2010年5月～
- 活動頻度
【ミーティング】毎週木曜日昼休み
【外部活動】月4回程度
- 連携・受入団体
自衛隊福岡地方協力本部北九州出張所、福岡県人づくり・県民生活部生活安全課、福岡県警察本部生活安全部生活安全総務課、福岡県小倉南警察署生活安全課、少年課・交通課、北九州市市民文化スポーツ局安全・安心推進課、北九州市小倉北区役所総務企画課、NPO法人好きっちゃ北九州、NPO法人盗撮防犯ボランティアWc、一般社団法人九州防災パートナーズ、株式会社J:COM、ソフトバンク株式会社
- 主な活動場所
学内、北九州市の小学校・市民センター、ショッピングモールなど

「動物福祉」という言葉をまずは北九州から広めていく

動物福祉プロジェクト

北九州市に動物福祉という言葉を広げていこうと考え活動しています。多頭飼育崩壊などによりペットが簡単に命を落としてしまう現状や、災害時の避難先でペットの扱いが決められていない避難所などが多くあります。またコロナウイルスの規制緩和によりおうち時間が少なくなり、ペットをないがしろにしている飼い主が増えています。こうした現状を良くするために、私たちは動物福祉という言葉を広げ、ペットのことを少しでも考えてもらえるように日々活動しています。



- プロジェクト人数
20名
- 活動開始時期
2015年11月～
- 活動頻度
全体会（不定期）
班別ミーティング
(火、木、金の昼休みもしくは3限)
北九州市動物愛護センターへの訪問（月1）
- 連携・受入団体
北九州市動物愛護センター
NPO法人ドッグセラピージャパン
NPO法人アニマルホームOhana
- 主な活動場所
北九州市動物愛護センター

生理を身近に、誰かのためになることを今始めよう

生理の貧困プロジェクト

私たちのプロジェクトは、生理の貧困問題を身近なものにしてもらうための活動を行っています。まず、生理を取り巻く課題を把握し、その課題の解決に向けた活動内容を検討します。そして、生理やジェンダーを女性や当事者だけでなく、すべての人々に身近なものであると感じてもらおうためのイベントを企画し実行します。また、生理やジェンダーに対するマイナスイメージを払拭することも私たちの目標の一つとしています。



- プロジェクト人数
20名
- 活動開始時期
2022年4月～
- 活動頻度
月に2～3日 昼休みの時間
- 連携・受入団体
特になし
- 主な活動場所
学内



「何を考えるか」から「何を学びとるか」へ

近年、学修のカタチが変化し、教員が一方に教える講義スタイルから、社会現場での体験活動に主を置いた実習スタイルが増えてきました。421Lab.でも、商店街の活性化や自然環境の保全、伝統文化の継承などの実社会にある身近な課題をテーマとして、専門分野を超えて課題解決に向けた連携が進んでいます。

しかしながら、一般的な実習スタイルでは「体験すること」が目的となりがちであり、本来のねらいである「教育」からずれてしまうこともあります。

421Lab.では、「事前研修」、「実践活動」、「発表機会」、「振り返り研修」というPDCAサイクルを回すことで、学生自身が何を学びとるかを考え、確実に成長するプログラムを備えています。地域活動に関わった学生が取り組んだ課題に興味を持ち、卒業後の進路につながったり、活動で達成できなかった部分を自分の課題として向き合ったりしていくことにつながります。

体験するだけで終わるのではなく、学生が「体験を通して学びとる」ことに注力し、学生の成長を応援しています。

・災害時緊急支援チーム・

災害発生時には行政や社会福祉協議会からのボランティア要請に迅速に応え、災害ボランティアセンター(通称:災害VC)の運営等に携わります。

おもな活動内容 ・年に1度研修を行います

発行 北九州市立大学地域共生教育センター
発行年 2024年3月
協力 プロジェクトに参加いただいている多くの皆さま



421Lab. メールに登録して最新情報をGET!
info421@kitakyu-u.ac.jp